

北光

第 142 号

平成20年11月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年(1911年)に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年(2011年)に創立100周年を迎えることになります。
また、北光会は昭和3年(1928年)に設立され、平成20年(2008年)に80周年となります。

目 次

受章おめでとうございます	1
巻頭言	高 橋 壽 夫 2
会長便り	菊 地 芳 朗 3
「あきたアーバンマイン開発アカデミー」創設	大 藏 隆 彦 4
環境物質工学科から2つの新学科へ	
「生命化学科」新設から半年が経過して	小 川 信 明 6
新学科「環境応用化学科」への改組	加 藤 純 雄 8
工学資源学研究科に新規「MOTコース」開設	佐 藤 博 9
「私たちも学んでいます…」	
—FD活動を通じた教育改善	菊 地 賢 一10
研究最前線	坂 中 伸 也12
先輩から後輩へ	藤原久良・高橋 淳・松田康宏13
学生の声 オープンキャンパス「頑張ったで賞」	16
セミナー報告	水戸部 一 孝22
学部創立100周年記念事業報告・寄附者御芳名	23
平成20年度第1回支部長会報告	26
大学支部主催「暑気払いビアパーティ」報告	神 谷 修28
北から南から	29
母校だより	38
事務局から	38
訃報	39
編集後記	40

会費納入のご協力をお願いします：このところ北光会会費の納入率の低下が目立っております。特に、若い会員のご協力をお願いします。

表紙写真：色付く山間を走る列車（秋田内陸線・秋田内陸縦貫鉄道）

鷹巣（北秋田市）と角館（仙北市）を結ぶこの鉄道は、赤字のために現在存廃が議論されています。この美しい光景を失わずにすむ良策は無いものでしょうか。

（撮影：秋田県観光課）

受章おめでとうございます

徳田 弘 名誉会員 瑞宝重光章 受章

平成20年秋の叙勲において、徳田 弘 名誉会員が「瑞宝重光章」を受章されました。徳田先生は昭和46年4月に秋田大学に赴任され、30年間に及ぶご勤続を経て、平成13年に退官されました。その間、鉱山学部長、鉱業博物館長、秋田大学長、医療技術短期大学部学長など要職を歴任され、大学・学部の教育・研究環境の整備充実に尽力されました。

三浦 亮 名誉会員 秋田県文化功労者に選ばれる

平成20年秋田県文化功労者に三浦 亮 名誉会員が選ばれました。三浦先生は昭和46年に秋田大学医学部に着任され、血液疾患の最先端医療を担うとともに、医学部長を経て平成13年2月から今年3月まで秋田大学長を歴任されました。人材育成、研究の発展に加えて地域貢献を重視し県民の生涯学習、地元企業との共同研究に力を注がれました。

渡邊喜一 理事(KS16K) 秋田県文化功労者に選ばれる

平成20年秋田県文化功労者に渡邊 喜一 理事(KS16K)が選ばれました。渡邊氏は「新編佐竹七家系図」、「新編佐竹氏一門系図・稿」を編著しました。関連する古記録や断片的だった諸系図の集大成である両著は佐竹氏研究者にとって不可欠な手引書といわれています。「菅原源八遺作全集」も編著するとともに、多数の古文書の解説依頼に応えた功績も大きく評価されました。

鈴木利弘 会員(BS18) 旭日単光章 受章

平成20年9月高齢者叙勲において鈴木利弘会員が「旭日単光章」を受章されました。鈴木氏は長年にわたり福島県相馬郡鹿島町町議会議員(5期20年)を務められた他、測量士・土地家屋調査士として活躍されました。採鉱昭和18年卒同級会の取りまとめ役として積極的に活動してまいりました。

東京サテライトのさらなる活用について

北光会東京支部長 高 橋 壽 夫 (MS35)



2004年12月、待望の「秋田大学東京サテライト」が開設され、早や4年になろうとしております。

当時の川上学部長から、ここを拠点に先生方から研究発表をしていた産学官との連携を深めていきたいと云われ、北光会に協力を要請されました。

北光会はこれを受入れ、全面的に協力、支援してきました。

サテライトでは工学資源学部だけでなく、医学部、教育文化学部も単独、又は合同でセミナーを開催しております。

大学のセミナーが年5～6回、北光会東京支部も一木北光会を年10回開催し、現在300回を突破し、実に30数年の歴史を持っております。

少子高齢化時代に入った今日、優秀な学生が十分入学し、秋田大学がますます発展して欲しいと思うのが、我々OBの願いであります。

セミナーの実績を見てみると、多少差がありますが、参加者平均約30～40名、大学、北光会関係を除くとほぼ4～5名程度にしかありません。もっとはつきり、ターゲットを決めてPRする必要があると考えられます。北光会員もほとんど65才以上の方々です。この傾向は一木北光会でも同じで、最近20回の平均参加者21名中、最若年者が55～60才という状況です。若い北光会員、特に平成年代に卒業された方々の参加がほとんど無いというのが一番問題と思います。一度大学セミナー、一木北光会に参加された若い方々は、又参加されておることを考えると、若い北光会員に対するPRがまだまだ不足していると痛感しております。

今後大学が益々発展し、北光会が継続されて

いくためには若い卒業生の方々の力が不可欠ですし、それはとりもなおさず、皆様若い方々の為になるのだということを理解していただきたいと思います。

先生達には、卒業後数年の若い層を対象にしたセミナー、在校生の東京サテライトでの出張講義、これからますます関係が深くなると考えられる中国、台湾、韓国、モンゴル、タイ、ベトナム、インド等アジアの国々の若者をターゲットにしたセミナー（英語による、又は通訳付きのセミナー）をぜひ開催していただきたいと思います。

通信教育のスクーリングのうちの何回かは東京でやったら良いと考えられます。又それぞれ、小・中・高校生等を対象にしたヤング向けセミナーも有効と考えられます。ただ奥ゆかしいだけでは駄目で、いまは多少目立ちたがり屋くらいがちょうど良いので、先生達には自分の教え子の卒業生に、セミナーがあるときは東京サテライトに必ず顔を出すようハッパをかけていただきたいと思います。

最後に創立100周年記念事業を成功させる為に北光会会員の皆様、特に若い会員の方々の御支援を宜しくお願い致します。

◆追記

北光会東京支部では上記セミナー、一木北光会の他、下記の行事がありますので多数御参加下さいますようよろしくお願い致します。

1月 北光会東京支部賀詞交歓会

奇数月第3土曜 サタデー北光会

4月第3土曜

JR山手線徒歩一周の会（今年で18回目）

5月・10月 北光会ゴルフ大会

12月 北光会東京支部総会

工場見学会 年2回予定

会長便り

徳田 弘先生 瑞宝重光章
三浦 亮先生 秋田県文化功労章
渡邊 喜一さん 秋田県文化功労章
鈴木 利弘さん 旭日単光章

晴れの受章 おめでとうございます

菊地芳朗 (GS34)

今回は嬉しいニュースからお伝えすることが出来ました。

本号でご紹介のように秋田大学元学長・鉱山学部長の徳田弘先生におかれましては、平成20年秋の叙勲において瑞宝重光章を受章されました。また、本会会員の鈴木利弘さんにおかれましては旭日単光章を受章されました。

更に、前学長・元医学部長の三浦亮先生と本会会員・理事の渡邊喜一さんにおかれましては、平成20年の秋田県文化功労章を受章されました。

皆様におかれましては誠に目出度うございます。徳田先生と三浦先生は本会の名誉会員であります。皆様の受章は本会にとっても大きな慶事であり、心よりお祝い申し上げます。

今後の更なるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

さて創立100周年記念の募金状況ですが、10月31日現在、総額1億2,370万円のご芳志を賜り感謝申し上げます。その内、北光会は2,580名、6,488万円であります。北光会の目標は1億円です。なお一層のご協力をお願いいたします。

先回の「北光」に募金趣意書を同封いたしました。既に募金されている方には、ご迷惑をおかけしましたが、この為か8月と9月の募金額が増額しております。何卒ご理解の程お願いいたします。

今年に入ってから、私は学部の先生方と一緒に募金のことで企業訪問をいたしました。訪問先の企業に勤めている会員にお願いして担当者を紹介して頂きました。その節は大変お世話になり感謝申し上げます。

企業からは100周年のことよりも大学の現状、特に在校生の就職活動のこと等が聞かれました。企業は大学に何らかの関係が必要だから寄付するのであって、その必要がなければ寄付はしないでしょう。やはり私が何時も云っているように同窓生だけで企業を訪問するよりも先生方が企業を訪問し、学校の現状等を説明する必要性を改めて強く感じました。

さて、米国のサブプライムローン問題から発した経済危機が大変なことになってきました。これが創立100周年記念募金に与える影響を心配しております。

資源関係に身を置いた者として、マネーゲームで金儲けすることに危惧を感じておりましたが、そのようになったようです。

石油価格の高騰と食の安全で大騒ぎになっております。ガソリンの価格も一頃に比べますとだいぶ下がってきましたが、安くなると資源の大切さが忘れられてきます。

私達が生活するには、お金も勿論大事なことです。食料を含めた資源も大切です。

これからは環境と食料・水を含めた資源についてもっと考えていくことが大切だと思います。

今、母校の産学連携推進機構が共催して、産学官連携公開セミナー「地下資源シリーズ～環境・資源・エネルギー～」が行われています。この実施には本会会員も深く関わっております。大変良い機会ですので、資源の大切さを改めて理解するためにも参加されては如何でしょうか。参考まで12月以降の概略を紹介しておきます。

2008.12.13 我が国の金属鉱物資源の将来に向けて～その政策と近年の研究動向～：都道府県会館401号室（東京）

2009.01.10 地球の謎に迫る、科学研究から見た地球の変遷：秋田大学鉱業博物館3階講堂

2009.02.14 再発見！秋田の資源産業の復活～金属リサイクル・地熱・バイオマス～：JOGMEC会議室（秋田・小坂町）

2009.03.14 新しい資源と技術を求めて～石炭液化・ガス化、炭酸ガスの地下貯蔵、メタンハイドレート～：都道府県会館401号室（東京）

詳しいことは母校の産学連携推進機構（Tel：018-889-2712）か北光会本部にお聞きください。

これから年末を迎えますが、皆様方におかれましてはお元気でよいお年をお迎えください。

「あきたアーバンマイン開発アカデミー」創設

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
あきたアーバンマイン開発アカデミー
大 藏 隆 彦

I. 地域再生人材創出拠点の形成プログラム

文部科学省の本プログラムは、大学等有する個性・特色を活かし、将来的な地域産業の活性化や地域の社会ニーズの解決に向け、これらに貢献し得る人材の育成を行うことを目的としています。地域の大学が地元の自治体との連携により「地域の知の拠点」を形成し、地方分散型の多様な人材を創出するシステムの構築を推進していくものです。

II. あきたアーバンマイン技術者養成プログラム

秋田大学工学資源学部は、明治43年に秋田鉱山専門学校として創設され、2011年に100周年を迎えます。創立以来、県内のみならず国内外においても鉱山学及び冶金学の発展に貢献してきました。現在に至るまで、天然資源並びに都市鉱山から有用な資源を回収するための研究開発を継続している知の拠点です。

一方秋田県は、県北部地域においてエコタウン計画を推進し、林業や鉱業で培われた優れた技術や施設を活用して環境リサイクル産業の振興を図ってきました。これらを一層進展させるには、新たな環境リサイクル技術の開発やリサイクルネットワークの構築などを支援できる人材の育成が重要となっています。

このような背景から、秋田大学と秋田県は密接に連携し、さらには県内外の有識者や企業・自治体の協力を受けながら、「あきたアーバンマイン技術者養成プログラム」を文部科学省に申請し採択されました。秋田大学は本プログラムの主要事業として、「あきたアーバンマイン開発アカデミー」を創設し、環境・リサイクル産業を理解し利用技術に展開することを目的として、エネルギー工学を含む資源学を始点に、有用金属の選別・生産技術やリサイクリング技

術、バイオマスエネルギーの利用等の化学関連技術、そして県内の情勢を含めた環境学や社会学、経済学などについて、県内外のその分野を専門とする講師により幅広いかつ深い内容の講義を行います。

III. あきたアーバンマイン開発アカデミーの教育目標

あきたアーバンマイン開発アカデミー（以降、アカデミーと呼称）の受講修了生は、上述の講義や実習、さらには様々な討論を通して、秋田県内における環境・リサイクル産業に関わる現況や課題を理解するとともに、課題については解法を提案できる実力を兼ね備えられるものと期待します。

そして技術開発や共同研究テーマの発掘、リサイクル産業への支援、リサイクル・ビジネス振興、環境教育・学習事業への協力、関連企業への就職等、地域に貢献できる人材として活躍することを期待するものです。

アカデミーにおいては、以下の知識や能力が受講者の身につくように教育体制を整備しています。

- (1) 環境・リサイクル産業に関わる、工学的基礎知識と設計・解析・評価に関する力。
- (2) 環境・リサイクル産業に関わる、プロセッシングないし利用技術に関する設計・評価能力。
- (3) 環境・リサイクル産業に関わる、環境影響や環境アセスメントなどに関する知識と評価能力。
- (4) 環境学、社会学、経済学、技術者倫理などについて、地球的視野にたつて、また市民の公共性をもって理解する能力。
- (5) 秋田県内における環境・リサイクル産業

に関わる課題について理解して、具体的解法を提案できる能力。

- (6) 技術開発や共同研究テーマの発掘，リサイクル産業への支援，リサイクル・ビジネス振興，環境教育・学習事業への協力などについて方策を提案できる能力。

Ⅳ. あきたアーバンマイン開発アカデミーの開設期間

アカデミーの開設期間は，平成20年度から平成24年度までです。

Ⅴ. あきたアーバンマイン開発アカデミーの概要

- (1) 受講生の養成期間：2年間
- (2) 入校時期：第Ⅰ期 平成20年10月，第Ⅱ期 平成21年4月。以降毎年4月
- (3) 受講生：10名／年程度を出願者の中から選考する。
- (4) 出願資格者
 - ① 社会人：企業等における技術者，行政担当者，教職者，市民団体関係者等秋田県在住者
 - ② 大学生及び大学院生
 - ③ その他本アカデミーの資格審査により認められた者
- (5) プログラム構成：
 - ① 講義：毎月1回，土曜日に集中講義，「資源学」，「リサイクル工学」，「社会学」

- ② フィールド研修：秋田県北部エコタウン地域等で操業実況と技術課題の把握並びに実験・分析操作等を通しての実習

- ③ 総合討論会：2年目の最終月に実施，アカデミーで履修した各分野の現状分析のまとめと課題抽出及びその解決の方向性についての提案と受講生全員による討論

- (6) 講師陣：秋田大学，秋田県，秋田県立大学，(財)秋田県資源技術開発機構，DOWAグループ等エコタウン内の企業，東北経済産業局，北海道大学，東北大学，東京大学，早稲田大学，慶應義塾大学，北九州市立大学，(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO），(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）等

- (7) 受講料等：受講料とフィールド研修の旅費・宿泊費は不要。

- (8) 修了証：講義，フィールド研修及び総合討論会のそれぞれにおいて基準以上の単位を取得した受講生を修了生とし，修了証を授与する。

- (9) 連絡先：あきたアーバンマイン開発アカデミー

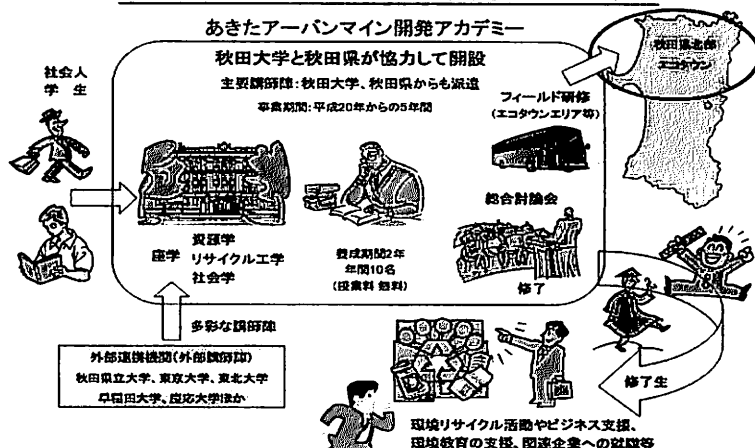
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

(秋田大学 工学資源学部内)

電話&ファックス (018) 889-2451

Eメール：academy@ipc.akita-u.ac.jp

あきたアーバンマイン技術者養成プログラム



環境物質工学科から2つの新学科へ

「生命化学科」新設から半年が経過して

生命化学科 教授 小川 信 明

秋田大学工学資源学部に生命化学科が新設されて、早いもので、もう半年以上がたちます。入学試験は、AO入試、前期日程、後期日程の試験を実施し、34名が、入学してきました。入試が始まる時には、本当に受験生が集まるかどうかを危惧しておりましたが、前期日程の4倍をはじめ、高倍率となりました。生命化学科の教員は、工学資源学部に従来なかったタイプの学科であることと、社会のニーズにもあっていることで、少子化にもかかわらず、受験生が多

かったのだと分析しており、設置前の考えにはほぼ沿った結果であったことで、ホッとしているところです。県外の学生の比率は、約70%と、他学科と変わらないのですが、女子学生の割合は、約40パーセントであり、本学科の特徴的な面が表れているところで、これも、予想していたことです。

もちろん1年生は、前期のカリキュラムを消化し、後期の授業を受講しているところです。生命化学科のカリキュラムを紹介します(表1)。

表1 生命化学科のカリキュラム

1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期	4 年前期
基礎数学	基礎数学	生命有機化学Ⅰ (濱田)	生命有機化学Ⅱ (濱田)	生命有機化学Ⅲ (濱田)	生命有機化学Ⅳ (濱田)	
基礎化学	基礎化学	分析化学Ⅰ (小川)	分析化学Ⅱ (小川)	分析化学Ⅲ (小川)	分析化学Ⅳ (小川)	
基礎物理学	基礎物理学	細胞生物学Ⅰ (久保田)	細胞生物学Ⅱ (久保田)	細胞生物工学Ⅰ (永田)	細胞生物工学Ⅱ (永田)	
入門英語	基礎生物学Ⅰ (久保田)	生化学Ⅰ (伊藤)	生化学Ⅱ (伊藤)	分子生物学Ⅰ (伊藤)	分子生物学Ⅱ (伊藤)	
入門数学	生命工学概論 (学科教員)	無機化学Ⅰ (加藤)	無機化学Ⅱ (加藤)	生命物理化学Ⅰ (秋葉)	生命物理化学Ⅱ (秋葉)	
入門化学	物理化学Ⅰ (布田)	物理化学Ⅱ (布田)	理論化学 (天辰)	生命工学Ⅰ (未定)	生命工学Ⅱ (未定)	環境安全化学 (中田)
入門物理学			構造有機化学 (近藤)	応用生命工学 (学科教員)	細胞工学Ⅱ (杉山)	テクニカルコミュニケーション (チエケツ)
			分析化学演習 (藤原)	細胞工学Ⅰ (杉山)	基礎生物工学 (後藤)	
目的・ 主題別科目	目的・ 主題別科目	目的・ 主題別科目	画像解析学 (西田)	高分子工学 (寺境)		
スポーツ教育	ス ポー ツ 論	スポーツ教育	細胞生理学 (河谷)			
大学英語	大学英語	大学英語		外国文献購読	基礎配属	創造工房実習
情報リテラシー	情報処理の技法 (佐々木)	理系英会話				研究プロポーザル
初年次ゼミ (学科教員)		基礎化学実験Ⅰ (学科教員)	基礎化学実験Ⅱ (学科教員)	生命化学実験Ⅰ (学科教員)	生命化学実験Ⅱ (学科教員)	卒業研究課題

新学科設置時の、カリキュラムを組む際に、学科教員が考えましたことは、1学年の学生数が最も少ない学科であることと、教員の数が、

客員教授を入れて、9名と少ないこと、この2点を積極的に生かし、科目数はそれほど多くなく、化学、生命化学の専門基礎科目を充実させ、

キメの細かい丁寧な指導・教授（少人数教育）を行い、基礎を徹底的に身につけてもらうことを第一の目標に掲げました。そのため、有機化学系、分析化学系、生命化学系の科目が、多くなっております。最近の学生が、本当の意味の実験・研究手法を身につけられてないのではないかと考え、実験科目の充実も考えているところで、ほかの科目の数を減らしてでも、実験を重視することを考えました。

新1年生は、“生命化学”、“ライフサイエンス”に対する興味がある学生が入学していることは、間違いのないのですが、世の中で、この分野で、どの程度のことかわかっていて、何が問題であるのかを、学生たちに身をもって自覚してもらうため、自分たちで調べ、発表してもらう試みを行いました。これは、ライフサイエンスコンテストと名付け、学生を4-5名づつの

8グループに分け、7/28に発表会を行いました。各グループのテーマは、A：細胞と進化、B：人間の免疫機構について、C：ガン、D：細胞の老化、E：身長について、F：毒と野菜と人間、G：病気の原因となるタンパク質について、H：メタボリックについて、でありました。これらのテーマは、現代の問題や、生命科学にかかわる最先端の課題も含まれ、1年生が、敏感にそれらを感じていることがわかりました。これらについて、当日発表してもらい、生命化学科の教員や研究室の4年生、院生および1年生がお互いを評価する、コンテストとしました。質問は、主に、教員がしていましたが、1年生にしては、立派な答えもたくさんあり、1年生のモチベーションの高さに感服した次第です。結果的には、Fグループが最も評価が高かったのですが、今後の1年生の成長が楽しみです。

表2. 平成20年度生命化学科各研究室・研究分野の教育目標

研究室	スタッフ	教育目標
生命有機化学 (濱田研究室)	濱田 文男 (教授) 秋葉 宇一 (准教授) 近藤 良彦 (助教)	生命体を形成する有機分子の構造・反応及び機能について、分子レベルで理解できる能力を身につけると共に、有機化学・物理化学の知識を駆使して超分子の設計・合成及び機能評価の出来る人材を育成。
生命分析化学 (小川研究室)	小川 信明 (教授) 藤原 一彦 (助教) 菊地 良栄 (技術専門職員) 天辰 慎晃 (准教授)	タンパク質などの生体内物質を分析する方法の開発、大気粒子状物質 (PM)・霧の環境影響の調査を通じて、対象物質の化学構造・化学的反応解析をできる人材の育成。 理論計算による化学反応の解明・分子設計のできる人材の育成。
分子生物学 (伊藤研究室)	伊藤 英晃 (教授) 久保田広志 (准教授) 宮崎 敏夫 (技術専門職員)	生命現象を司る遺伝子やタンパク質について、生理機能発現メカニズムを分子レベルで理解できる能力を身につけると共に、分子生物学の知識を駆使して、生命現象の解析や機能性タンパク質の設計・発現・精製・機能解析ができる人材の育成。
分子細胞生物学 (永田研究室)	永田 和宏 (客員教授)	細胞は、タンパク質が正しく機能するために、分子シャペロンという一群のタンパク質による、きわめて巧妙な細胞機能調節機構を備えている。細胞機能を、分子レベルで理解できる能力を有する人材の育成。

もうひとつ、生命化学科の研究グループの教育目標について、紹介します (表2)。現在は、技術職員を含めて、11名の陣容で、教育・研究を行っているわけですが、4年後には、卒業生が出るので、生命化学科の学生が進学する大学院を考えないといけません。これは、1年生へのアンケートで、ほとんどの学生が、進路として、大学院を考えていることにもよりますが、

我々としては、学科の性格から、医工連携で生命科学専攻の大学院ができればと、考えています。

最後になりましたが、伝統ある秋田大学工学資源学部に新設されました生命化学科に、北光会会員の皆様のご支援を是非とも賜りたく存じます。

予 告

平成21年度北光会通常総会は下記のとおり広島市で開催の予定です。詳細は来年4月発行の「北光」143号でお知らせ致します。

開催日：平成21年5月30日（土）

場 所：広島市 アークホテル

母校だより

▶ 受 賞

城 門 義 嗣 (CH9)

常 大 偉 (CH20)

加賀谷 誠 (CS48)

受賞名：コンクリート工学年次大会2008（福岡）
「年次論文奨励賞」

論文名：「フライアッシュコンクリートのニオイセンサによる養生効果の評価」

受賞年月日：平成20年7月11日

▶ 辞 職 (H20. 7. 9 付)

助教（ものづくり創造工学センター）秋山 演亮

▶ 新任教員 (H20. 10. 1 付)

なか え やす はる
中 江 康 晴



所 属 情報工学科

出身地 東京都

履 歴

平成9年3月 東京工業
大学理学部数学科 卒業

平成11年3月 東京大学
大学院数理科学研究科数
理科学専攻修士課程 修了

平成11年4月 学校法人麻布学園非常勤講師
平成16年3月 東京大学大学院数理科学研究
科数理科学専攻博士課程修
了、博士（数理科学）の学位
取得

平成16年4月 東京大学大学院数理科学研究
科拠点形成特任研究員（COE
研究員）

平成17年4月 東京女子大学非常勤講師（前
期のみ、平成20年度まで）

平成19年4月 東京大学大学院数理科学研究
科学術研究支援員

平成20年4月 東京大学大学院数理科学研究
科特任研究員

平成20年10月 秋田大学工学資源学部情報工
学科助教

専 門：低次元トポロジー、葉層構造論、量
子情報通信符号化

事務局から

1. 会費の振り込みが便利になります。

北光会会費の振込みは現在、郵便局か銀行からの振込みですが、来年度からはこれに加え、コンビニ、銀行ATM、ネットバンキングやモバイルバンキング、モバイルEdyまたはパソコン、携帯電話などからも振込めるようになります。詳しくは来年4月以降の北光に同封の振込み用紙をご覧ください（平成20年10月25日、支部長会承認事項）。

2. 北光会会員名簿（平成19年版）のデスクウントセール

平成19年6月に発行しました北光会会員名簿（平成19年版）に残部がございます。下記の格安価格で販売しますので、ご希望の方は早めに北光会事務局までご連絡下さい（平成20年10月25日、支部長会決定事項）。

送料込みで 3,000円／冊（定価：5,000円／冊）

3. 宛名ラベル作製サービスの再開について

クラス会等の開催案内を発送する際、宛名ラベル作製は大変苦勞するところです。北光会は以前、宛名ラベルを有料で作製するサービスを実施しておりましたが、個人情報保護法の施行によりそのサービスを停止しておりました（北光132号参照）。しかし、宛名情報は既に名簿に公開されていることやサービスの再開を望む声もあることから、宛名ラベル作製サービスを再開することになりました（平成20年10月25日、支部長会決定事項）。下記の料金のご負担になりますが、是非ご利用下さい。

料 金：ラベル1枚当たり	20円
一覧表印刷（A4用紙）	200円
基本料	2,000円

4. 「北光」の記事執筆者の卒業年次の表記法の変更について

現在、「北光」の記事執筆者については卒業学科と卒業年次のみを記号で表記しています。しかし、他大学の同窓会誌を見ますと、大学院修了生であればその情報も併記されています。また、当同窓生からもそのような併記の必要性が指摘されています。そこで今回の「北光」から、記事執筆者については卒業学科と卒業年次に加え、大学院修了生であれば修了専攻と修了年次を併記することになりました（平成20年10月25日、支部長会承認事項）。

寄 附 金（受付順、敬称略）

次の方よりご芳志を頂戴いたしました。厚く
お礼申し上げます。

故 石郷岡康浩（BS37）ご遺族	5,000円
故 内山 直文（KS24）ご遺族	3,000円

故 佐藤 勇（BS19）ご遺族	6,000円
故 吉川 宏（ES34）ご遺族	3,000円
井口 岳人（KS56）	2,000円
菊地 祥子（DH5）	10,000円

計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

（北光141号発行後連絡を受けた方々）連絡先については事務局にお問い合わせ下さい。

科・年	氏 名	死亡年月日	BS19	佐 藤 勇	東京都	H20年 8 月16日
MS14	高 橋 良 一	秋田県 H20年 4 月13日	OS20	井 沼 新次郎	北海道	H19年 7 月 5 日
BS16K	山 田 三 郎	北海道 H20年 6 月 3 日	ES20	渡 部 浩 一	秋田県	H19年10月14日
BS17	小 山 十 郎	福島県 H20年 6 月15日	BS22	木 全 義 明	岐阜県	H20年10月31日
ES17	石 田 哲 朗	山梨県 H20年 5 月11日	BS22	黒 谷 俊 司	北海道	H20年 7 月11日
HS17	桂 英 一	福島県 H20年 7 月29日	HS22	吉 村 七 郎	埼玉県	H20年 8 月13日
MS17	相 沢 重 正	大阪府 H20年 9 月 7 日	KS22	相 澤 隆 一	秋田県	H20年 9 月 5 日
MS17	佐 藤 敬	秋田県 H20年 9 月15日	BS23	古 軸 幸 光	北海道	H20年 9 月10日
BS18	佐 藤 元 久	秋田県 H20年 9 月24日	BS23	木 谷 修 三	秋田県	H20年 9 月22日
BS18	鷺 尾 三 郎	秋田県 H20年10月 3 日	ES23	柳 秀 明	栃木県	H20年 9 月 6 日
KS18	村 上 嘉 三	神奈川県 H20年 9 月 6 日	KS23	渡 辺 正 人	神奈川県	H20年 4 月23日

OS23 杉 澤 利 勝 栃木県 H20年 7 月 6 日
 OS24 久保木 高 岩手県 H20年10月31日
 KS24 内 山 直 文 東京都 H20年 3 月16日
 BS31M 中 田 悦 雄 北海道 H20年 5 月26日
 BS33M 村 上 義 則 新潟県 H20年 4 月28日

ES34 吉 川 宏 茨城県 H19年12月10日
 BS37 石郷岡 康 浩 千葉県 H20年 7 月 9 日
 FS38 山 田 尚 愛知県 H20年 8 月24日
 BS51 工 藤 裕 明 秋田県 H18年 8 月 2 日
 SH6B 進 藤 宣 広 秋田県 H19年 8 月 7 日

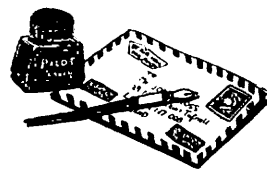
— 編 集 後 記 —

ここ数号の「北光」では、秋田の風景が表紙を飾っております。この写真には、できるだけ発行される時期に合わせたものが選ばれています。発行時期に合わせるということは、通常、その年に撮影したのでは発行に間に合わないの、以前撮影したものから選ぶことになります。前号(141号)の表紙には、私が撮影した大曲の花火の写真が載りました。これを見た方から、「これ、今年の(大会)?」といった質問をされることがありましたが、もちろん今年のもではありません。花火大会の年々増加する人ごみに後込みしてしまい、ここ数年は見にもいっていません。と言うことは、あの写真はそれ以上前…。今回の号でも発行時期(11月末)に合わせた写真を採用することになっているのですが、この原稿を執筆中の現在(10月上旬)、まだ決定していません。表紙については最終稿近くまで決まらないこともあります。今号の表紙にはどんな写真が載る(載っている)のでしょうか(?)。

近年、特に若い年齢層において北光会の会費納入率が下がっているそうです。同窓会の役割や同窓会に対する意識が、時代と共に変化してきているのかもしれません。少しでもこの状況を改善したいと言う考えから、現在編集委員会では、この「北光」を在学生も含めた若い人により読んでもらえるような、内容・構成にしようという試みを行っています。研究や学内情報に関する記事を増やしたり、記事の掲載順を変えてみたりと、各号で試行錯誤しております。特集号ではない今号は、その試行錯誤の様子が幾分わかりやすいのではないかと、思います。初めて出てきた表紙写真についても、企画段階

ではいろいろアイデアが出されるのですが、簡単には実現できないものが多く、結局無難な写真に落ち着いています。制約もあるので、大きな変化を起こすことはなかなか難しいのですが、何か良いアイデアはないか考えています。

杉山 渉 (MH2)



発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 秋田大学工学資源学部 北 光 会
 URL: <http://www.hokkokai.com>
 E-mail: info@hokkokai.com
 電 話 018 (835) 9822
 018 (889) 2317
 F A X 018 (835) 9822
 振 替 02510-5-1231

発行人 及 川 洋 (CS47)

編集委員

石山 大三 (GS56), 今井 忠男 (BS63)
 杉山 渉 (MH2), 近藤 良彦 (FH5)
 景山 陽一 (IH7), 福本 倫久 (AH10)
 萱野 良樹 (EH13), 齋藤 憲寿 (CH18)

北光会事務局

事務局 長 及 川 洋 (CS47)
 庶務担当理事 中 田 真 一 (FS53)
 会計担当理事 鈴 木 雅 史 (ES60)
 ホームページ担当理事
 横 山 洋 之 (DH1)
 コンピュータ担当理事
 玉 本 英 夫

事務室 遠 藤 福 子, 佐々木 静 子
 印刷所 秋田活版印刷株式会社

平成20年度秋田大学行事予定

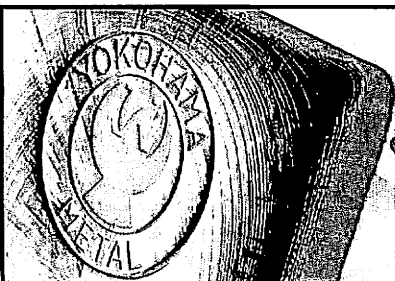
時 期	全学・学部行事	学部入学	博士前期課程入学	博士後期課程入学
7月上旬 7月中旬		編入学（一般入試）(7/7～8) 特別選抜 帰国生（秋期入学） 第1次選考7/17・第2次選考8/28		入学試験（英語特別コース）
7月下旬	通信教育講座学内スクーリング (7/25～27) 博物館前期企画展「秋田の化石」 (7/26～8/24)		事前審査受付（一般・社会人・ 外国人留学生）7/28～31	事前審査受付（一般・社会人・ 外国人留学生）7/28～31
8月上旬	ジュニアサイエンススクール (8/1～8/2) 夏季休業（8/2～9/30）	秋田大学工学資源学部オープン キャンパス（8/7） 昨年までの進学説明会（高校3年生対象） AO入試スクーリング受付 (8/4～8/15) AO入試スクーリング（8/31）	入学試験（推薦）8/4	
8月上旬				
8月下旬				
9月上旬			入学試験（一般・社会人・外国 人留学生）9/3～4	入学試験（一般・社会人・外国 人留学生）9/3～4
9月中旬		AO入試願書受付 (9/11～9/17) AO入試入学試験（9/30） 編入学試験（2次募集）（2次募集 の必要がある場合）		
9月下旬	前期終了（9/30）			
10月上旬	後期開始（10/1）			
10月中旬	通信教育講座関西スクーリング (10/18～19)			
10月中旬	秋田大学祭（10/18～19） 関西セミナー（10/18）			
11月上旬	全学駅伝大会（11/1）			
11月下旬		特別選抜（推薦入学Ⅰ）		
12月上旬			事前審査受付（2次募集（2次募 集の必要がある場合））（一般・外国 人留学生）	
12月下旬	冬季休業（12/26～1/8まで）			
1月上旬	冬季休業終了（1/8）			
1月中旬		大学入試センター試験 1/17, 18		
1月中旬		特別選抜 帰国生（春期入学）	事前審査（2次募集（2次募集の必 要がある場合））（社会人） 入学試験（2次募集（2次募集の必要 がある場合））（一般・外国人留学生） 事前審査受付（再チャレンジ）	事前審査（2次募集（2次募集の必 要がある場合））（一般・社会人・ 外国人留学生）
1月下旬		特別選抜 推薦入学Ⅱ 私費外国人留学生選抜		
2月上旬				
2月中旬				
2月下旬	春季休業（2/21～4/3）	一般選抜 前期日程	入学試験（2次募集（2次募集の必要 がある場合））（社会人） 入学試験（再チャレンジ） 事前審査受付（2次募集（2次募集 の必要がある場合））（再チャレンジ） 入学試験（2次募集（2次募集の必要 がある場合））（再チャレンジ）	入学試験（2次募集（2次募集の必要 がある場合）），一般・社会人・外国 人留学生）
2月下旬		編入学（社会人特別選抜）		
3月上旬				
3月中旬		一般選抜 後期日程		
3月下旬	秋田大学卒業式（3/22） 後期終了，学年終了（3/31）			
4月上旬	秋田大学入学式（4/7） 授業開始（4/9）		MOTコース・履修登録受付開始	MOTコース・履修登録受付開始
5月上旬	通信教育講座修了式（5月上旬）			
6月上旬	創立記念日（6/1） 今日歩大会（上旬）	編入学（推薦入試）		事前審査受付（英語特別コース）

出願手続き，試験日程等は募集要項作成次第にホームページに掲載しますのでご確認ください。
また，このページの内容等についてのお問い合わせは，下記までお願いいたします。

入試(学部)：入試係 018-889-2313 入試(大学院)：大学院係 018-889-2316

行事：総務係 018-889-2305 学務：学務係 018-889-2312

通信教育：通信教育係 018-889-2315



横浜金属株式会社

終ありのない鉾脈は、都市にある。

純銀
999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格表示許可工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

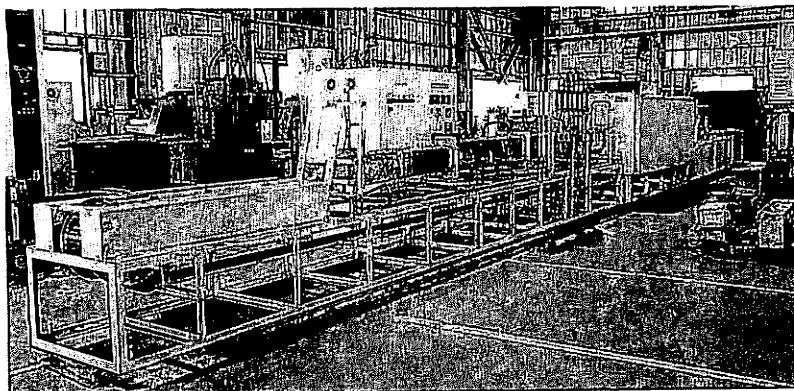
横浜金属グループ

横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-5-2 Tel 042(773)4411 Fax 042(773)4775
<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail tokyo@e-thermal.co.jp